

令和4年度 保育園関係者評価

施設評価シート

すずかけこ保育園

保育園関係者評価委員会による評価

対象評価： 最終評価

評価日時： 令和5年 2月 17日(金) 10:00～ 場所(すずかけこ保育園会議室)

【保育園関係者評価委員会構成】

学識委員 1名 地域委員 1名 保護者委員 2名

【園の教育・保育目標】

「明るく のびのび 元気な子」
～一人ひとりのえがおを大切にしよう～
～子ども達に寄り添い心を豊かにする～

【本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した
保育園評価の具体的な目標や計画】

様々な保育教材に親しもう、感じよう
～豊かな感性を育む～

子ども達がパネルシアターや絵本、自然物等の様々な保育教材に親しみ、遊びの中に取り入れる保育環境を整える。また様々な保育教材に子ども達が触れ、親しみ、いろいろな経験をする中で、五感を十分に働かせていく中で豊かな感性を育てていけるような教育・保育活動を展開していく。

【評価基準について】

- 4・・・十分に達成されていた
- 3・・・ほぼ達成されていた
- 2・・・取り組みは見られるが達成が十分ではない
- 1・・・取り組みが不十分であった

項目	園評価	評価理由	最終評価	評価委員から
I. 目標の理解 1. グランドデザインを理解している 2. グランドデザインを意識している 3. 重点目標を意識している 4. 重点目標を意識して取り組んでいる	3	グランドデザインを意識して保育計画を作成しているが、保育に反映されているかの確認が不十分であると感じる。 重点目標を意識して保育教材を保育に取り入れることは出来たが、フリー職員の実践の場があまりなかった。	3	職員が理解しているかの評価は、園の子ども達の姿や様子で判断していただければいいと考える。 食育や実際に手で触れて感じるもの等、いろいろな体験や経験ができていっていると思う。 重点目標の1年間の取り組みは、保育教材を活かした保育が展開されていると感じた。子ども達がどのように感じているかを評価して次に生かす時間が取れていないのは残念だが、子どものことを考えて時間を工夫して教材を手作りで作っていることは素晴らしいと思う。 グランドデザインは示しただけにならないように、振り返りや会議で常に伝えていく努力も重要だと考える。すべての職員の声を聴ける職場環境の大切さを感じる。
II. 教育・保育の計画性と内容 1. 指導計画の作成 2. 環境への配慮 3. 教育・保育活動の実践 4. 計画と実践の評価・反省	3	指導計画は全体的な計画から年間計画へ、それが月指導計画から週の計画へとつながるよう意識して作成はできた。しかし、活動実践後の反省が不十分のため、反省・課題が次に活かされておらず、動植物の飼育や栽培等不十分な活動もあった。	3	環境への配慮や教育への実践等、子ども達と関わる項目が入っているが、計画の部分ではできていると感じた。野菜の栽培から生き物の飼育までいろいろな経験を通して何を子ども達に伝えていくかが重要だと思う。しかし生き物の飼育はとても難しい課題であると感じる。生き物の飼育を行うにあたっては死んでしまう事もあるが、最後まで愛情を持って見届けてあげる大切さを伝えることも必要と考える。

<p>Ⅲ. 子どもにとっては</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. その子らしさが認められる 2. ゆったりとした生活 3. 自然に触れて心行くまで遊ぶ 4. いろいろな人の中で自分を知る 	3	<p>個々を大切に保育を目指すために、クラスカンファレンスや職員会議で話し合いの場を設け、研修を通して学びを深めた。しかし、命の尊さを伝える活動が少なかった。</p>	4	<p>保育参加で散歩と一緒にいったときに、異年齢との関わりで大きい子が小さい子に自然と優しくできる姿に成長を感じる場面があった。近所の方が子ども達の散歩をする姿を堤防沿いでよく見かけるが、近所の方にとっても子ども達と挨拶を交わし合う機会となり嬉しく感じている。子どもの個性やその子らしさを大切にする対応をしてきていると感じている。苦手、得意はみんなそれぞれで良いのだということ子ども達に伝えてくれていると感じている。</p>
<p>Ⅳ. ファミリーにとっては</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 気軽に相談できる 2. いつでも保育に参加できる 3. 必要な情報が得られる 4. 保育を通して地域に親しむ 	3	<p>コロナ禍でも内容を工夫して保護者が子ども達の様子を見ることが出来るように保育参加や行事を計画実践してきた。保育者も保護者もマスクをして表情が読み取りづらい部分や玄関での受け渡しの時期もあり、保護者と話す時間を十分に取れないこともあった。その分、掲示やブログ等で園の様子を伝えたが、ブログの回数が少なく更新が遅くなってしまった。</p>	3	<p>クラスの様子は毎日のメールにて伝えてもらっており、クラス全体の様子は知ることができているが、自分の子どもが実際にどのように1日を過ごしてきたかを毎日職員に聞くことは難しいと思う。子どもの情報を知る手段として、保護者と職員とで気軽に聞いたり話ができる関係性をこれからも作っていかれたらと思う。これからもブログを早めにあげる事や子どもの様子を保護者に伝える努力をしていってもらえたらと思う。</p>
<p>Ⅴ. 地域にとっては</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 誰でも親しく訪ねられる 2. 園の内容がよくわかる 3. 緊急の時頼りになる 4. 子育てに夢がもてるように 	2	<p>園をアピールするためにブログや子育て情報誌の発信を行った。コロナ禍での対応により、地域と関わる機会が少なくなってしまった。</p>	2	<p>地域との世代間交流は、この3年間コロナ禍で実践するのは難しかったと思う。これから少しずつ以前のような交流ができるようになってくると思う。地域としても小学校が隣にあるという園の環境を活かし、地域と連携してやってもらえたらと思う。</p>
<p>Ⅵ. スタッフにとっては</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 個性が生かされる 2. 快適な職場づくり 3. 生活や遊びの文化が伝えられる 4. 視野を広げて自ら学ぶ 	3	<p>職員会議で職員が保育教材の発表をすることで、職員一人一人の得意な部分を活かすことができた。他職員の刺激にもなっていると感じている。伝統的な行事や遊びの伝承をしてきたが、不十分であった。</p>	3	<p>職員が活き活きとしていれば子ども達も活き活きとしてくると思う。いろいろな事が職員に求められており、職員の業務が増えてしまうのはとても心配である。業務改善を進めながら快適な職場環境を目指し、職員同士が相談し合える関係性を作ってほしいと願う。そして子どもとの時間を大切にもらえたらと思う。</p>